

【2015年11月16日】

大使館からのお知らせ

【注意喚起】パリにおける連続テロ事件の発生に伴う注意喚起

13日22時頃（現地時間）、現地の報道によれば、パリ10区及び11区（1．ビシャ通りのレストラン「ル・プティ・カンボジ」(rue Bichat)、2．フォンテーヌ・オ・ロワ通りのカフェ (rue de la Fontaine au roi)、3．ヴォルテール大通りの小劇場「バタ克蘭」(Bataclan, Boulevard Voltaire)、4．シャロンヌ通り (rue de Charonne)、5．レピュブリック通り (avenue de la Republique)、6．ボーマルシャ通り (boulevard Baumarchais)）及び7．パリ北部近郊の国立競技場（Stade de France）において、銃撃事件等が発生しました。仏政府の発表によれば、少なくとも127人が死亡し、多数が負傷しました。

本事件については、オランダ仏大統領はイスラム過激派 I S I L（イラク・レバントのイスラム国）により実施されたとして発表しました。一方、I S I Lは本事件について犯行声明を発出し、フランスに対する更なる攻撃を警告しています。

コスタリカ国内においては、現在のところ、イスラム過激派組織等テロリストグループの存在及び活動は確認されておきませんが、政府・軍・警察関係施設、公共交通機関、観光施設、デパートや市場など不特定多数が集まる場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知したら、速やかにその場を離れるなど安全確保に十分注意してください。

コスタリカ国外へ渡航される場合には万一来に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。3か月未満の旅行や出張などの際には、渡航先の安全に関する情報を随時受けとれるよう、「たびレジ」に登録してください。

（詳細は <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/#> 参照）

また、在留届で登録した住所や電話番号、メールアドレス等に変更が生じた際は、速やかに当館までご連絡をお願いいたします。

なお、テロ・誘拐対策に関しては、以下も併せて御参照ください。

（1）パンフレット「海外へ進出する日本人・企業のための爆弾テロ対策 Q&A」

（2）パンフレット「海外旅行のテロ・誘拐対策」

（パンフレットは、<http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pamph.html> に掲載。）

以上

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆
TEL: (506)2232-1255 FAX: (506)2231-3140
E-mail: japon-consulado@sj.mofa.go.jp (大使館領事班)
または eriko.nishida@mofa.go.jp (西田) まで